
3年Z組銀八先生～桃先の3Z観察日記～

李

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

3年Z組銀八先生と桃先の3Z観察日記

【Nコード】

N7052Y

【作者名】

李

【あらすじ】

ここは銀魂高校。普通の学校からはボール三個分くらい外れている高校。

その中でも飛びぬけた変人が集まるクラス「3年Z組」の担任、坂田 銀八と副担任、桃瀬^{ももせ} 優^{ゆう}こと桃先、そして生徒たちのドタバタコメディ、どうぞ見て行ってください！

第一訓 初めての教室に入るのって勇氣いる(前書き)

初めまして、の方初めまして！もう一つの連載作品を読んでくださっている方、どうも、李です^^

もう一つの連載作品「銀魂 - 私と桜と真選組 -」に余裕があるわけでもないのに、連載を初めてしまいました；
今回も銀魂の二次創作ですが、番外編の3年Z組銀八先生になっております。

オリキャラも出てきますが、どうかお付き合いください！

第一訓 初めての教室に入るのって勇氣いる

銀魂高校。

それは、「こんな高校死んでも行きたくないやい、ペッペッ、ランキング」…でぶつちぎりの一位に見事輝いた高校である。学校自体もそうだが、そこに通っている生徒も「普通の学校」からはボール一個分…いや、三個分くらい外れていると聞いている。

その中でも飛びぬけた変人たちがいる教室、ここ「3年Z組」の引き戸の前に今、私は立っていた。

ちなみに転校生、というわけではない。立派な教師になりたくて来たのだ。副担任だけど…。

今日が初日。今日から私は3年Z組の副担任になるのだ。

ちなみに、この「Z」は「ゼット」と読むのではなく、「ズー」と読むらしい。正直、どっちでもいいと思う。

(嫌だなあ…何でこんなことになったんだろう…)

昔から教師になるのが夢だった私は、教師になるために免許を取った。まあとにかく小学校でも中学校でもいいので教師になりたかった。

嫌だと思つのなら何故ここにいるのか？教師になれたのは嬉しい。

問題は学校の方。

これでも最初はちゃんと志望校へ行ったのだ。

が、いまいちで、結局ここに勤めている友人に「今、人手不足だからどこでもいいなら来てほしい」と言われ、仕方なく来た…ということである。

普通の学校からボール三個分もずれているなんて聞いたら不安になるに決まっている。

ついでに言っておくが「こんな高校死んでも行きたくないやい、ペッペツ、ランキング」の一位というのはここへきて初めて知った。

友人というのは、一応銀魂（銀）高校の理事長。だが、もう御察しの方もいる通り、理事長も普通ではない。さつき会ってきたが、相変わらずだった。

Z組の担任ともまだ顔を合わせていないし、どんな生徒がいるのか…。ドキドキしながらその場にずっと立ちつくしている。

そこへ、ペタペタとサンダルの音が近づいてきた。音のする方を向いてみると、白髪で天然パーマの男がいたのだ。ずり落ちた眼鏡に加え煙草、だらしなく着た白衣。男は、引き戸に手をかけ入ろうとする。

この男がZ組の担任なのか？

「あの…」

思い切って話しかけてみたが、男は少しこちらを向くと「合図したら入ってきてくれ」と言い、引き戸をガラツと開けた。

え？待って待って！私のこと知ってる感じじゃなかった!？

そう思ったが男を呼びとめて聞くことはできないので、いつ入ってもいいように気を静め深呼吸をする。

引き戸を開けると、中の騒がしい声が聞こえた。男は教卓まで行く騒いでいる生徒たちに向け、一言。

「ぎゃーぎゃーうるせーんだよ、おめーら。ここは猿山ですか、コノヤロー」

第一訓 初めての教室に入るのって勇氣いる（後書き）

もう一つの連載作品をメインに更新していきたいと思いますので、
こっちの方は更新が亀並に遅くなってしまつかもしれません・それ
でも読んでいただけると幸いです><

御観覧、ありがとうございました！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7052y/>

3年Z組銀八先生～桃先の3Z観察日記～

2011年11月22日01時13分発行